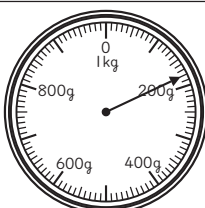
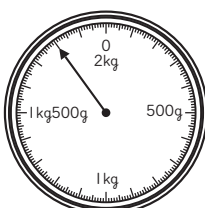


第14単元 重さのたんいとはかり方A

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 20 ② (各5)	① 2、10 ② 1、300	[知技]はかりの目盛りがどのように刻まれているかを理解している。	一番小さい目盛りは、100gを10等分したものであることから、10gであるととらえさせる。
②	① 20 ② (各10)	① 1kg400g (1400g) ② 650g	[知技]はかりの目盛りを正しく読み取ることができる。	はかりの目盛りは、一番大きい目盛りから順におさえていくようにする。
③	① 20 ② (各10)	① (順に) 1、700(完答) ② 2045	[知技]重さの単位(g、kg)の関係を理解し、換算することができる。	1kg=1000gの関係をおさえ、教科書37ページのますりんの吹き出しの図を基に取り組みさせる。
④	① 20 ② (各10)	①  ② 	[知技]指定された重さをはかりに表すことができる。	まず、はかりの目盛りがどのように刻まれているかを見る。そして、①の180gの場合、一番小さい目盛りが10gであることから、100gから8つめ、150gから3つめ、200gより2つ前などとみられるようにする。目盛りが正しく読めない児童の中には、100の $\frac{1}{10}$ は10などの数概念の理解が十分でないこともあるので、その理解の状況も把握しておくといよい。
⑤	式 答 (各10)	250 + 160 = 410 410g	[知技]重さの加法性を理解している。	重さも加法性が成り立つことを知らせ、(教科書の重さ) + (ノートの重さ) = (全体の重さ) の言葉の式を基に考えさせるようにする。

第14単元 重さのたんいとはかり方B

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	いちばん重い…のり いちばん軽い…電池	[思判表]重さを数値化することができ、大小を判断している。	のり…つみ木6個分より重い 電池…つみ木5個分 はさみ…つみ木6個分 そこから、「電池<はさみ<のり」となることをおさえる。
②	イ	[思判表]重さについての量感を持ち、およそ1kgのものを選択している。	「1kgのものを集めてみよう」「1kgを作ってみよう」と投げかけ、実際に手で持ったり、はかりではかって確かめさせたりする活動を通して、量感をつかませたい。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3問	2問	1問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。